

第1回忠岡町障害者施策推進協議会 議事録

○日時：平成29年9月6日（金）午後1時30分～午後2時45分

○場所：忠岡町役場3階 研修室1・2

○出席者【委員】

北野 誠一 NPO法人 おおさか地域生活支援ネットワーク 理事長
安藤 元博 泉大津市医師会代表
是枝 綾子 忠岡町議会 福祉文教常任委員会委員長
石原 廣二 忠岡町身体障害者福祉会会长
樋口 早智子 忠岡町心身障害者（児）福祉会会长
益居 僚 忠岡町精神障害者家族会代表
上ノ山 幸子 忠岡町社会福祉協議会会长
勝元 芳夫 忠岡町民生委員・児童委員協議会会长
櫻井 忠司 忠岡町人権協会会长
森 真規 泉州北障害者就業・生活支援センター センター長
井手 和代 公募委員
今川 和子 大阪府和泉保健所地域保健課長
小川 英夫 大阪府立岸和田支援学校校長
東 祥子 忠岡町健康福祉部長

○欠席者【委員】

高見 晃市 忠岡町自治会連合会会长
井下 知子 忠岡町エイフボランタリーネットワーク副会長
鶴田 信也 忠岡町障害者施設代表
田邊 みき 公募委員
塩谷 謙二 大阪府立和泉支援学校校長

○出席者【事務局】

和田町長、いきがい支援課 泉元課長、泉、田邊

○出席者【関係各課】

学校教育課 大西参事、子育て支援課 二重課長、保険課（保健センター）岩佐

○出席者【コンサル／傍聴】

西山

○傍聴者

なし

○案件

- ①会長及び副会長の選出
- ②制度改正と第5期障がい福祉計画等の策定に向けて
- ③アンケート調査票について
- ④第4期障がい福祉計画の進捗状況について
- ⑤策定スケジュールについて
- ⑥その他

○配付資料

次第

委員名簿

- 資料1 障がい福祉計画：国の基本指針の見直しのまとめ、障がい児福祉計画の策定について
- 資料2-1 障がい福祉計画 アンケート案
- 資料2-2 障がい児福祉計画 アンケート案
- 資料3-1 平成28年度障がい者・障がい児福祉サービス実績
- 資料3-2 平成28年度障がい者福祉サービス費集計
- 資料3-3 平成28年度障がい児福祉サービス費集計
- 資料4 忠岡町第5期障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画策定スケジュール（案）

○案件

- ①会長及び副会長の選出
- ②制度改正と第5期障がい福祉計画等の策定に向けて

（資料をもとに事務局より説明）

- ・委員：医療的ケア児の協議の場については平成30年度までに実施とあるが、町単独か、圏域で実施するのか。
←（事務局）現時点においては泉大津と協議はしていないため、はっきりしたことは言えないが、圏域になると思われる。
- ・委員：障がいがある人で、老々介護をしている家庭もあるので、ワーカー等による訪問相談を

実施してほしい。

- ・委員（議長）：「高齢障がい者」のみを問題とするのではなく、「相談支援」の枠組み中で考えていくようにお願いしたい。
- ・委員：資料1の「5. 「地域共生社会」の実現に向けた取組」に、「住民団体等によるインフォーマル活動への支援等、・・・」とあり、住民の助け合いが重要であることは理解できるが、本来はフォーマルサービスの質の確保をした上で、インフォーマルサービスが量的に提供されるべきではないか。
- ・委員：資料1の「3. 就労定着に向けた支援」についての記載にあるように、あらたになサービスとして「就労定着支援」が創設されるが、就労支援に関わる事業者のスキルアップが求められる。一方、現在ある就業生活支援センターと同じような内容となる部分もあるので、一般の方にも違いをわかりやすく伝えていく工夫も必要だと思っている。
- ・委員：障がい児に対する「障がい児福祉計画」として位置付けることは重要なことだと感じている。そこで、保育所・幼稚園から小学校などライフステージに合わせた切れ目のない支援が重要だと思うが、学校現場でも障がい児が増えており、教育現場における福祉支援や特別支援教育を充実させていく必要がある。
- ・委員：特別支援学校の取組としては、市町の福祉担当課や保健師等とケース会議をするなど、必要な支援やサービスにつなげるようになっているが、移送サービスや医療的ケアが必要な子どもに対する支援については、医療機関等の関係者との連携や協議が十分ではない面もある。

③アンケート調査票について

（資料をもとに事務局より説明）

- ・委員：18歳以上アンケートで問8（要介護認定の有無）は、介護保険では総合事業が導入され、要介護認定が必ずしも必要ではないので、選択肢を再度検討してほしい。
←（事務局）選択肢を修正する。
- ・委員：児童アンケートのP5、問8（平日の過ごし方）で、「6 高等学校（支援学級）」となっているが、大阪府では「自立支援コース」等の名称を使っているので、確認をし、修正してほしい。
- ・委員（議長）：調査票に関して委員からの意見は、いつまでに出せばよいか。
←（事務局）今週中に頂ければ反映させるようにしたい。

④第4期障がい福祉計画の進捗状況について

（資料をもとに事務局より説明）

- ・委員：サービスにより増減の違いがみられるが、予算の点からみるとどのようなことが言えるか。

←（事務局）平成 29 年度においては想定よりも伸びているので、場合によっては補正予算を組む必要がある。

- ・委員（議長）：就労継続 A について気になるのは、雇用契約であるが、一方で、一定時間以上働かないと、雇用保険に入れないなどの問題があり、就労継続 A といつてもピンキリである。この点について、何かお気づきの点があれば御意見をお願いいたします。
- ・委員：圏域では、泉州北（和泉市、泉大津市、高石市、忠岡町）で、平成 28 年度だけでも、あらたに 3 か所の就労 A 型事業所ができている。就労 A 型は賃金を確保しつつ、福祉サービスを提供する支援であるが、生産活動がメインで、なかなか一般就労への支援ができていない事業所も多く、国でもその点を踏まえた指導の強化が図られるようになっている。就労 A 型は、ずっとそこにいるのではなく、一般就労であることを、計画相談などの第三者が入って促していくことなどが必要だと思う。

⑤策定スケジュールについて

（資料をもとに事務局より説明）

※質疑なし

⑥その他

- ・次回（第 2 回）開催日時は、11 月 15 日（水）午後 1 時～2 時 30 分、会場については調整中で、改めて御案内する。

以上